



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月5日

上場会社名 株式会社パロー 上場取引所 東・名  
 コード番号 9956 URL http://www.valor.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田代 正美  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務本部長 (氏名)志津 幸彦 (TEL)0572-20-0804  
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日~平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	114,247	3.0	3,676	0.2	3,911	2.5	2,300	2.9
26年3月期第1四半期	110,874	4.3	3,670	△12.4	3,816	△13.9	2,235	△3.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 2,368百万円(5.7%) 26年3月期第1四半期 2,240百万円(2.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	44.68	44.67
26年3月期第1四半期	43.42	43.37

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	240,095	84,598	35.0
26年3月期	235,131	82,949	35.0

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 84,034百万円 26年3月期 82,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00
27年3月期	—				
27年3月期(予想)		16.00	—	17.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日~平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	235,200	5.8	7,900	20.7	8,100	14.7	4,600	15.4	89.33
通期	478,000	5.2	16,700	16.9	17,300	13.0	9,400	2.6	182.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期1Q	52,661,699株	26年3月期	52,661,699株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

27年3月期1Q	1,172,841株	26年3月期	1,172,773株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期1Q	51,488,867株	26年3月期1Q	51,489,096株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気対策等への期待を背景に回復の兆しはあるものの、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、消費税の増税前の駆け込み需要の反動減や業態を超えた競争の激化等により厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループでは積極出店による事業規模の拡大を図ると共に、お客様のニーズにお応えする商品提案、従業員教育によるサービスレベルの向上等により、店舗における営業力の強化を進めてまいりました。なお、グループ全体の店舗数は、当第1四半期末現在で618店舗となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の営業収益は前年同四半期比3.0%増の1,142億47百万円となりました。また、営業利益は前年同四半期比0.2%増の36億76百万円に、経常利益は前年同四半期比2.5%増の39億11百万円に、四半期純利益は前年同四半期比2.9%増の23億円になり、それぞれ増益となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### <スーパーマーケット(SM)事業>

SM事業の営業収益は792億98百万円(前年同四半期比3.8%増)、営業利益は26億81百万円(前年同四半期比16.2%増)となりました。

基幹事業であるSM事業につきましては、引き続き業容の拡大と営業力強化の両面に注力いたしました。店舗につきましては、SMパロー2店舗を出店し、当第1四半期末現在のSM店舗数はグループ合計で253店舗となりました。

商品政策では、個々のお客様のニーズに対応すべく品揃えの充実を推進してまいりました。また、前期に開設した精肉・青果のプロセスセンターの運営等により店舗業務の軽減に努めました。

SMパロー既存店の売上高は、前年同期比で0.9%減少いたしました。前期から本年にかけて開店した店舗の寄与により、事業全体では増収を確保いたしました。

#### <ホームセンター(HC)事業>

HC事業の営業収益は113億25百万円(前年同四半期比1.9%減)、営業利益は7億47百万円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

同事業につきましては、一部の商品において消費税増税の影響があったものの、季節商品の積極的な提案や専門性の強化、品揃えの充実等により、前年レベルを維持いたしました。

出店及び退店はなく、当第1四半期末現在の店舗数は35店舗であります。

#### <ドラッグストア事業>

ドラッグストア事業の営業収益は180億81百万円(前年同四半期比2.5%増)、営業利益は1億86百万円(前年同四半期比43.7%減)となりました。

同事業につきましては、化粧品など高額品を中心に消費税増税の影響があり、既存店の売上高は前年同期比で5.0%減少いたしました。低価格戦略を推進する積極的な販売促進企画や積極的な出店政策により増収を確保しました。

同事業においては14店舗を新たに開店し、当第1四半期末現在の店舗数は255店舗となりました。

#### <スポーツクラブ事業>

スポーツクラブ事業の営業収益は23億円(前年同四半期比4.5%増)、営業利益は94百万円(前年同四半期比66.6%増)となりました。

同事業につきましては、会員数の増加により増収増益となりました。また、4月に愛知県名古屋市中区に「女性専用フィットネスクラブLALLA栄」を出店し、当第1四半期末現在の店舗数は55店舗となりました。

#### <流通関連事業>

流通関連事業の営業収益は19億85百万円(前年同四半期比11.4%増)、営業利益は8億39百万円(前年同四半期比10.8%減)となりました。

流通事業に関連するその他のグループ企業では、流通事業の規模拡大に的確に対応するためのインフラ整備や、サービスレベルの維持向上を図ってまいりました。

#### <その他の事業>

その他の事業の営業収益は12億55百万円(前年同四半期比5.0%減)、営業利益は1億1百万円(前年同四半期比1.6%減)となりました。

その他の事業につきましては、ペットショップ事業、衣料品等の販売業及び保険代理店等であります。ペットショ

ップ事業において出店及び退店はなく、当第1四半期末現在の店舗数は17店舗であります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ49億63百万円増加し、2,400億95百万円となりました。これは主に棚卸資産23億89百万円及び有形固定資産39億9百万円の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ33億14百万円増加し、1,554億96百万円となりました。これは主に、借入金13億74百万円の減少があったものの、未払消費税等10億76百万円、賞与引当金14億50百万円及び設備支払手形15億50百万円の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ16億49百万円増加し、845億98百万円となり、自己資本比率は35.0%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、平成26年5月9日決算発表時の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が159百万円減少し、利益剰余金が106百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ0百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,130	17,523
受取手形及び売掛金	6,304	5,385
商品及び製品	23,891	26,264
原材料及び貯蔵品	386	403
その他	10,955	9,668
貸倒引当金	△650	△650
流動資産合計	58,019	58,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	81,121	83,494
土地	35,550	35,560
その他(純額)	17,726	19,253
有形固定資産合計	134,399	138,308
無形固定資産		
のれん	379	383
その他	6,355	6,418
無形固定資産合計	6,735	6,801
投資その他の資産		
差入保証金	25,398	25,643
その他	11,139	11,307
貸倒引当金	△560	△560
投資その他の資産合計	35,977	36,389
固定資産合計	177,111	181,499
資産合計	235,131	240,095

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	33,425	33,402
短期借入金	34,744	34,349
未払法人税等	3,037	1,824
賞与引当金	2,026	3,476
引当金	706	590
資産除去債務	3	—
その他	12,216	16,520
流動負債合計	86,161	90,163
固定負債		
社債	7,042	7,015
長期借入金	37,123	36,143
引当金	881	897
退職給付に係る負債	2,597	2,494
負ののれん	41	31
資産除去債務	4,221	4,338
その他	14,112	14,411
固定負債合計	66,020	65,332
負債合計	152,181	155,496
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,916	11,916
資本剰余金	12,676	12,676
利益剰余金	59,161	60,747
自己株式	△1,500	△1,500
株主資本合計	82,254	83,839
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	145	203
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	121	112
退職給付に係る調整累計額	△126	△121
その他の包括利益累計額合計	140	194
新株予約権	58	58
少数株主持分	495	506
純資産合計	82,949	84,598
負債純資産合計	235,131	240,095



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	106,736	110,167
売上原価	81,276	82,751
売上総利益	25,459	27,415
営業収入	4,137	4,079
営業総利益	29,597	31,495
販売費及び一般管理費	25,926	27,818
営業利益	3,670	3,676
営業外収益		
受取利息	38	45
受取配当金	16	16
持分法による投資利益	—	18
受取事務手数料	188	195
受取賃貸料	222	237
負ののれん償却額	10	10
その他	215	280
営業外収益合計	691	805
営業外費用		
支払利息	181	199
持分法による投資損失	16	—
不動産賃貸原価	323	355
その他	24	15
営業外費用合計	545	570
経常利益	3,816	3,911
特別利益		
固定資産売却益	2	1
負ののれん発生益	—	2
違約金収入	3	8
債務保証損失引当金戻入額	67	—
その他	1	0
特別利益合計	74	12
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	9	16
減損損失	28	—
貸倒引当金繰入額	53	—
その他	6	3
特別損失合計	98	20
税金等調整前四半期純利益	3,793	3,903
法人税、住民税及び事業税	2,064	2,038
法人税等調整額	△515	△448
法人税等合計	1,549	1,589
少数株主損益調整前四半期純利益	2,243	2,313
少数株主利益	7	13
四半期純利益	2,235	2,300

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,243	2,313
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35	64
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	32	△14
退職給付に係る調整額	—	4
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	△2	54
四半期包括利益	2,240	2,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,230	2,354
少数株主に係る四半期包括利益	9	14

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	3,793	3,903
減価償却費	2,472	2,799
減損損失	28	—
のれん償却額	31	32
貸倒引当金の増減額(△は減少)	58	0
退職給付引当金の増減額(△は減少)	49	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	62
受取利息及び受取配当金	△55	△62
支払利息	181	199
持分法による投資損益(△は益)	16	△18
固定資産除却損	8	16
売上債権の増減額(△は増加)	86	919
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,458	△2,387
仕入債務の増減額(△は減少)	2,627	△27
その他	3,651	4,826
小計	11,490	10,264
利息及び配当金の受取額	22	21
利息の支払額	△155	△166
法人税等の支払額	△3,419	△3,184
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,938	6,935
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,469	△3,546
無形固定資産の取得による支出	△188	△212
差入保証金の差入による支出	△484	△425
差入保証金の回収による収入	265	213
預り保証金の受入による収入	150	60
預り保証金の返還による支出	△73	△122
その他	△28	△151
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,828	△4,182
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△102
長期借入れによる収入	2,700	1,000
長期借入金の返済による支出	△3,209	△2,271
社債の償還による支出	△42	△42
配当金の支払額	△732	△780
その他	△204	△269
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,489	△2,467
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	60
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,612	345
現金及び現金同等物の期首残高	15,764	17,055
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,376	17,401

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット (SM) 事業	ホームセ ンター(H C)事業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	76,391	11,543	17,634	2,201	1,782	109,553	1,320	110,874
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	682	31	5	0	5,890	6,611	121	6,732
計	77,073	11,575	17,640	2,202	7,673	116,164	1,442	117,606
セグメント利益	2,308	766	331	57	940	4,404	103	4,507

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業及び保険代理業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,404
「その他」の区分の利益	103
セグメント間取引消去	186
全社費用(注)	△1,024
四半期連結損益計算書の営業利益	3,670

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	スーパー マーケット(SM) 事業	ホームセ ンター(H C)事業	ドラッグ ストア事 業	スポーツ クラブ事 業	流通関連 事業	計		
営業収益								
外部顧客への営業収益	79,298	11,325	18,081	2,300	1,985	112,992	1,255	114,247
セグメント間の内部営業 収益又は振替高	775	77	8	0	6,921	7,784	82	7,866
計	80,074	11,402	18,090	2,301	8,907	120,776	1,338	122,114
セグメント利益	2,681	747	186	94	839	4,550	101	4,651

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットショップの営業、衣料品等の販売業及び保険代理業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	4,550
「その他」の区分の利益	101
セグメント間取引消去	173
全社費用(注)	△1,148
四半期連結損益計算書の営業利益	3,676

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。